

令和3年度全国学力・学習状況調査 三郷市の調査結果分析と今後の方策例

主な成果（○）と課題（▲） 全国差：全国平均正答率との差

小 学 校 算 数

全体の結果（正答数分布グラフ等からの分析）

- 平均正答率は、73.0％である。
- 平均正答数は、11.6問/16問であり、全国を上回る。※全国11.2問/16問
- 市の平均正答率は、全国差+2.8％である。

学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式別結果

- 学習指導要領の領域「A数と計算」では、全国差+3.7％である。
- 評価の観点「思考・判断・表現」では、全国差+2.8％である。
- 問題形式「記述式」では、全国差+3.6％である。

問題別結果（正答率、無回答率からの分析）

- 4**－（2）「商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる」では、全国差+6.7％である。
- 3**－（4）「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」では、全国差+5.6％である。
- すべての問題で、全国の無回答率を下回る。
- ▲**1**－（4）「条件に合う時刻を求めることができる」では、全国差－0.1％である。

今後の方策例

「除法の式と商の意味を理解し、表現する授業展開例」

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例（国立教育政策研究所）より

① 速さを比べる日常生活の場面から問題を見いだす。

インターネットで調べると、博物館から城までは、1600mで、20分かかるそうです。私たちが歩いて20分間で行くことができるかな。

私たちは、500mを歩くのに7分かかりました。

それぞれの道のりと時間は、表にまとめることができます。速さを比べてみましょう。

	道のり (m)	時間 (分)
インターネット	1600	20
私たち	500	7

速さは(道のり)÷(時間)で求めることができますので、インターネットから分かる速さは、 $1600 \div 20 = 80$ で、分速80mです。

私たちの歩く速さは、 $500 \div 7 = 71.4\cdots$ で、分速71.4mです。

分速80mと分速71.4mなので、数が大きい分速80mの方が速いと思います。

例えば、50m走で、10秒と9秒では、9秒の方が速いので、数が小さい方が速いと思います。だから、数が小さい分速71.4mの方が速いと思います。

数が大きい分速80mの方が速いのでしょうか。数が小さい分速71.4mの方が速いのでしょうか。

ポイント 速さを比べる日常生活の場面から、数値が大きい方が速いのか、小さい方が速いのかについて調べようとする態度を養うことが大切です。